

# 製品安全データシート

## 製造者情報

会社名 みずわ工業株式会社  
住所 京都市右京区西院松井町7番地の1  
担当部 業務部  
電話番号 (075)313-1049  
FAX番号 (075)313-1567  
作成日 平成21年7月24日

## 製品の特定

製品名 波ヨケ

## 組成・成分情報

単一製品・混合物の区分: 単一製品(シート状成型品)

成分名 : アクリロニトル・ブタジエン・スチレン重合体

化学式 :  $[-(\text{CH}_2-\text{CHCN})_k-(\text{CH}_2\text{CH}=\text{CHCH}_2)_l-(\text{CH}_2-\text{CHC}_6\text{H}_5)_m]_n$

官報公示整理番号 : (6)-176

CAS No. : 9003-56-9

## 危険有害性の要約

厚生労働省・経産省の告示第1号(1993年3月)および告示第60号(1992年7月)による危険有害性の分類基準には該当しない。

## 応急措置

目に入った場合 : ガス・ヒューム・ガス/ヒュームの凝集物・粉塵が目に入った場合は、こすったりせず清浄な水で十分に目を洗浄し、目に異常を感じた場合は直ちに医師の手当を受ける。

皮膚に付着した場合 : 溶解樹脂が皮膚に接触した場合は、直ちに大量の水で冷やし、医師の手当を受ける。付着した樹脂を取り除く場合は、溶剤を使用せずに医師の指導を受ける。

ガス・ヒューム・ガス/ヒュームの凝集物・粉塵が付着した場合は、石鹼と水でよく洗う。皮膚に異常を感じた場合は医師の手当を受ける。

本製品の取扱いは、一般的には皮膚を刺激することはないが、取扱いの後は水でよく洗う。ただし、皮膚に湿疹等の異常を感じた場合は、医師の手当を受ける。

吸入した場合 : ガス・ヒュームを吸引した場合は、新鮮な空気のある場所に移る。咳・呼吸困難やその他の症状が出る場合は、直ちに医師の手当を受ける。

粉塵を吸引した場合は、直ちに水でうがいをし、新鮮な空気のある場所に移る。咳・呼吸困難やその他の症状が出る場合は、直ちに医師の手当を受ける。

飲み込んだ場合 : 微粉末を飲み込んだ場合は、急性毒性はないが、直ちに吐き出させる。大量に飲み込んだ場合は医師の手当を受ける。

---

## 火災時の処置

- 危険有害燃焼物質 : この樹脂は、火災時には、強い熱・濃い黒煙・一酸化炭素・二酸化炭素・シアン化水素・炭化水素類・窒素酸化物を含む有害なガスを発生する。
- 消火剤 : 消火には水の噴射・泡消火器が適しているが、水が最適な消火剤である。炭酸ガスとドライケミカルは冷却能力が少なく、再発火の恐れがあるので注意が必要である。
- 消火上の注意 : 消火作業をする場合は適切な保護具(呼吸用の保護具等)を着用する。

- 
- 漏出時の措置 : 切り屑等の微粉末の床・道路への散乱は、スリップ転倒の原因となるので、直ちに掃き集めて処分する。  
(廃棄する場合は「廃棄上の注意」を参照)

---

## 取扱いおよび保管上の注意

- 取扱い : 本製品を取り扱う場合は、一般的には保護手袋は必要ないが、皮膚が敏感な人は保護手袋を着用する。

樹脂乾燥や溶解樹脂から発生するガス・ヒュームは、眼・皮膚を刺激することがあるので、適切な保護具を着用する。

ガス・ヒューム・粉塵が発生する場所には、局所排気設備を設ける。また局所排気による二次災害を防止するための設備も設ける。

溶解樹脂を高温(250℃以上)で空気中に放置しておく、分解・発火の恐れがあるので、溶解樹脂は小さく平らな形にして水で冷却する。

樹脂を高温で長時間加熱させると、熱分解によるガス発生等の危険性があるので十分に注意する。

二次加工や粉碎などで発生する粉塵は、静電気や電気スパークなどで粉塵爆発を起こすことがあるので、堆積しないよう清掃する。

樹脂の二次加工・粉碎等で発生する粉塵は、眼・皮膚・呼吸器を刺激することがあるので、適切な保護具を着用する。

搬送: 搬送中は風雨にさらされないようカバー等の保護をする。搬送中は過度の段積みをして、荷崩れを防止する。

- 保管 : 直射日光・水濡れ・高温多湿を避けて平坦面に保管する。保管中は過度の段積みをして荷崩れを防止する。

---

## 暴露防止および保護措置

- 管理濃度 : 設定されていない。

- 許容濃度 : 日本産業衛生学会およびACGIHは、ABS樹脂の粉塵に関する許容濃度は定めていないが、次の許容濃度は定めていないが、次の値を参考にするのが妥当と考えられる。

参 考	時間荷重平均値	
	吸入性粉塵	総粉塵
日本産業衛生学会勧告値 (1992年)第三種粉塵	2mg/m <sup>3</sup>	8g/m <sup>3</sup>
ACGIH勧告値(1999年) 一般粉塵	3g/m <sup>3</sup>	10g/m <sup>3</sup>

設備対策	: ガス・ヒュームや粉塵を除去するために、所排気設備を設ける。 また、廃棄物による二次災害を防止するための設備(排ガス処理装置/ダストコレクター等)も設ける。 排気ダクト等に溜まるガス/ヒュームの凝集物は、火災の危険性や有害なことがあるので、適切な保護具を着用し、定期的に清掃除去する。
呼吸用保護具	: 樹脂製品の機械加工・サンディングなどの粉塵の発生する場所で作業する場合は、防塵マスク等の呼吸用保護具を着用する。 ガス・ヒュームが発生する場所で作業する場合は、有機ガス用のマスクを着用する。
保護眼鏡	: 樹脂乾燥や溶解樹脂からのガス・ヒュームが発生する場所で作業する場合は、保護眼鏡を着用する。 二次加工等で粉塵が発生する場所作業する場合は、保護眼鏡を着用する。
保護手袋	: 本製品を取り扱う場合は、一般的には保護手袋は必要ないが、皮膚が敏感な人は保護手袋を着用する。また溶解樹脂を取り扱う場合は、火傷を防止するために断熱性の良い手袋を使用する。
保護衣	: ガス・ヒュームや粉塵が発生する場所で作業する場合は、皮膚を保護する作業衣を着用する。

## 物理的および科学的性質

外観等	: 無臭あるいはわずかに臭気のある板状の固体
沸点	: なし
初留点	: なし
蒸気圧	: なし
揮発性	: なし
融点	: 明確な融点はなく、広い範囲(130~150°C)でだいに柔らかくなる。
密度	: 1.03g/cm <sup>3</sup> 以上
溶解度	: 水には不溶。アセトン・メチルエチルケトン等の有機溶剤に溶ける。

## 安定性および反応性

引火性	: 知見なし
発火点	: 500°C以上(推定)
爆発限界	: 上限:知見なし 下限:知見なし
可燃性	: あり
発火性	: 自然発火性:なし
水との反応性	: なし
酸化性	: 通常の貯蔵取扱いにおいて酸化性はない。
自己反応性	: 通常の貯蔵取扱いにおいては自己反応性および爆発性はない。
／爆発性	: 溶解樹脂が高温(250°C)以上になると分解または発火する危険性があるので溶解樹脂は、小さく平らな形状にして水で冷却する。
粉塵爆発性	: あり
安定性／反応性	: 通常の貯蔵・取扱いにおいては安定で反応性はない。
その他	: 通常の加工条件で発生するガスには、ごく微量のスチレン・アクリロニトリル・ $\alpha$ -メチルスチレン・アセトフェノン・エチルベンゼン・クメン・フェノール類が含まれることがある。 (水と反応して有害なガスを発生する等を含む): 知見なし

## 有害性情報

皮膚腐食性	: なし
刺激性(皮膚、眼)	: 樹脂の乾燥時および溶解樹脂から発生するガス・ヒュームは眼および皮膚を刺激する。
急性毒性	: 経口LD50(ラット) > 5000mg/kg(推定値) (50%致死量等を含む)

---

## 環境影響情報

生分解性 : なし  
その他 : 陸海の生物が摂取することを防止するためいかなる場所にも投棄・放出してはならない。

---

## 廃棄上の注意

廃棄の方法 : 「廃棄物の処理および清掃に関する法律」に則って処理を行う。

---

## 運送上の注意

輸送中はカバー等の保護を行い、直射日光や風雨にさらされないようにする。  
輸送中は過度の段積み avoidance、荷崩れを防止する。

---

## 適用法令

消防法(第9条3)指定可燃物(3,000kg以上の貯蔵が該当)  
労働安全衛生法(第57条の2第1項、関係省令)

保管 : 消防法指定可燃物 (合成樹脂類、3000kg)

廃棄 : 廃棄物処理および清掃に関する法律

---

## その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作性しておりますが、含有量、物理化学的性質、危険・毒性等に関しては、いかなる保証をなすものでもありません。

また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご使用ください。

---